

## 京都市の自転車総合計画の推移

心街も、 路をさっそうと走り抜けていく。 ど見かけない。 き交う。 京都市四条通。観光客でにぎわう中 歩道に駐輪された自転車はほとん 朝は通勤の市民が急ぎ足で行 何台もの自転車が風情ある小 しか

「京都市では市内73カ所で放置自転

特に市内中心部ではほぼ毎日、

徹

2万4600台。活動の成果で2年後 開始した。当時、 当部長は説明する。 の後、増加に転じ、自転車法が改正さ 止条例を施行、 れた平成5年には再び2万台を超えて には8100台にまで減少したが、そ 昭和60年、 京都市は自転車放置防 放置自転車の撤去を 放置自転車の数は

これを受けて京都市では、平成8年

京都市建設局 土木管理部 自転車総合政策担当部長 入雄 Hisao NIKI

合計 充実する施 の改 画 É の策定\_ に取り組んだ。 策・ ح 事 業として 自 転車 放 自 置防 転 止条 車 総

翌 11 合計 都市自 業関係 に なり れた市民 て市 総合的 成 画 年、 都市 転車 「案を取り 者、 政、 10 戌 協 年には、 0) 市 から広く 議会での 等駐車対策協議会」を設置。 学識経験者で構成 な対策を検 自 民団 転車 意見を反映 りまとめ、 体、 総合計画 市 意見 審議を踏まえた総 長 鉄道事業者や 討 元を募集。 0 その する 諮 計画 問 平 を策定 組 する 機 成 織とし 寄せ 案に 12 関 京

会と連 議会の設置 れている。 付置 携 W · て 策  $\bar{\sigma}$ した 総合 一義務 動 Ď É ル 駐 定 して 輪場整 されて 計 か **が置自** など ル 画 活 自 0 動できる地 は、 あ 確 備 お 転 並 ŋ 諸 車 改 転 ″集客施 施策が -等駐 正 車 , //走 鉄 -の撤去~ 自 道 車 域ごとの 行 転 ·対策: 空間 草法に 盛り込ま 設 事 子業者と 0 〃利用 協議 0 駐 協 整 基

を

まれるもので、 総合計画 は 今年度が最終年度とな 10 年間 わたって取 ŋ 組

### 集中型のプログラム

に減少 市 かし今度は都心部 内 部 んたと評価 全体 長は、 0 放置 ح の してい 自 総 転車 合計 に、 0 画 駐 台数 の 輪 成 は大 果と 場 0

> が 放 が 収 である平成11年と17年を比較 |置自転車は全体で40%減少して 都心部は逆に15%増加していた」 流入してきた。 容台数をはるかに上 総合計画策定の 回 [る量 0 すると、 自 前年 転 る 車

度まで都心 光客の ジネス ところだ。 的 クションプログラム」 18 通 年 都 両 取 10 心 替町 ij 月 往 部〃 商 組 来も多い。 都 業 通 部 むメニ とは、 0 i心部放置自 0 放置 中 押 心的 ユ 小路 先斗町 を策定。 そこで市では平 自 を推 転 地 通 車問題に 域 転車 に囲まれたビ 通. 進 等対 あり、 平 している 成 綾 集中 22年 策ア 小 成 観 路

を目 と自 る。 打ち出 放置 標に、 駐 転 車 輪 自 スペ ·利用者 して 5 つ 転 いる 車 ] 0 のアクショ スの 0 増 マナ と言う。 加 確 保 は、 不 とマナ 定に 駐 ・プログラム 輪 起 場 1 不足 向 因 上 す

る。

を 置 自 確保 活用 平 を目 ĺ 転 成 ル 車 Ļ 21年 跡地 防 している」 指 す。 公共 止 計2500 の受け 10月からは、 Þ 公園 0 現 駐 と言う。 段階 輪場 地 血として、 下 では、 台の駐 などの 0 )整備 集客施 その 輪場 小学 公共空間 設 80 0 校 放 0) 設 置 % 0

もらう。

た

取

ŋ

発 体 設 等 お

13 飲 準となる により、 小売店 場 食 店 店 0 付置 象となる施設 ?施設面は 今 官公署 病院等 遊技場 後、 義務を強化する予定だ。 新 なと 積を従来よりも 築 映 銀行等 14 0) 画 種に拡充 増築するす 種 館 類もこれまで 3 レンタ 大。 種 引き から、 これ ノルビ 基 駐

するのは

難

L

11

ŋ 利 転

組 用

Z

がなけ

ń 地

促進

は、

視

動に

傾注

車 活

利

用者

0

る。

化区

域 強

の拡

大や

去

もさらに

化して

方で、

自

転

車

 $\dot{O}$ 

入を促 0) 輪場整備の費用を助成する !場が整備されることになる さらに、 施 設で、 進するため、 民間地の 駐 輪需要に応じた規模

定だ。 請 申 口 6 受 付期 肖の 請状 0 募集を行う予 況に応じ 間 カ月間 としてお

ŋ 申 た。

制

は、

第 2

監視 駐 域 自 市 て、 活 لح 向 転 車 内 「動を展 協 上 車 対 地 数 働 策 13 利 域域 力 つ 用 0 所 開して 11 自 者 0) 啓 て 駅に 転車 発 は

協 議 会 を

地

等駐車場整備助 度運 用初年度となる平 成 平成 活用や事 金制度」 20年 も創 民間 成 -度には 業者 21年 設 自 0 度 駐 参 転

域 は 臨 整った。 施 機 放置 応変な撤 保管所も整 自 転 車 去、 は 地 正備 さ 夜 域 間 が れ 直 休 面 H 定 す 0) る お け 体

制 る

0

駐

5 カギになる。 の問 Ó 問 題として行 題 地 京都市 域 一政と取り 0 長 住 民 は 常 ゃ ŋ 事 々、 、 組 業者 むこと 地 が 域 が 地 自

しながら、 組みと連携 視活動 て日 地 市 は、 域 啓 常的 住民 を そう 行 が主 な啓 0 連

11

する。 からだ。 ば 駐 発 域 実 0 場 自 取り組みのイメージ図

置

となっ

#### 京都市 都心部放置自転車対策アクションプログラムによる



強調するが、まさにそれを実践してい 行政が連携して共に汗する、共汗、を きたい」と考えている。

民はどのような考えを持っているのだろ こうした市の取り組みについて、

など駐輪場付置義務を支持する意見が 街は率先して駐輪場整備をしてほしい」 する場所がなく不便」「人の集まる商店 ほしい」などの声が多く、また「駐輪 い」「安心、安全に歩ける環境を守って された自転車によって歩道が歩きにく 置自転車は都市の景観を損なう」「駐輪 ころ、おおむね賛成だったそうだ。「放 年6~7月に市民の意見を募集したと 駐輪場付置義務の強化について、

連携強化の重要性を二木部長は訴えて を持ち、共に取り組むことが必要」と、 民や団体は多いが、 一放置自転車対策を市に要望する住 全員が当事者意識

# **「歩くまち」の中で存在を明確に**

ち、と言われる所以だ。 利な場合も多い。、自転車が似合うま 光都市だが、中心市街地はコンパクト 5000万人の観光客が訪れる国際観 人口147万人の京都市は、 自動車より自転車を使った方が便 自転車を利用すればどこへでも行 昔ながらの細い街路や小路が多 年間



られている。本年夏に戦略を策定する 同市で初めての交通マスタープランで 京都」の実現を目指す京都市では現在、 スタイルへの転換、を柱に審議が重ね 通まちづくり③公共交通優先のライフ の策定に向け、「『歩くまち・京都 ある「『歩くまち・京都』総合交通戦略 公共交通の利便性向上②未来の公共交 合交通戦略策定審議会」において、 公共交通優先の「歩いて楽しいまち

くりに生かしていきたい 性を明確にし、うまく活用してまちづ とは何なのか。もっと存在意義や必要 だと言われながらも、 にされてしまう、曖昧な存在。自転車 行者を脅かし、車道を走れば車に邪魔 「自転車は環境にやさしい交通手段 歩道を走れば歩

京都市では自転車政策課が事務局と なって、昨年6月から12月にわたり毎 を取り入れた施策であることも重要だ。 自転車ユーザーの視点、市民の感覚

> る「自転車・京都街角セッション」を 自転車ユーザーが自由に意見を交換す つのテーマに沿って具体策が挙げられ ④京都から自転車文化を世界へ、の四 ③「行儀良く」自転車を使う人づくり で話し合われた提案・意見を「京都市 の日程で、終了後に、街角セッション 鉄道事業者、 開催。大学生や大学教授、NPO法人、 月1回、 への提言」としてまとめる取り組みだ。 マ発表とフリー討論を行った。全7回 くり②使える、使ってもらえる「駐輪場」 提言では①自転車のための 毎回、 自転車交通のあり方について 市場関係者などの参加を プレゼンターによるテー 「道」づ

が提案されており、施策に反映させて いきたいと考えている」 など、、利用しやすさ、を考えた具体策 めることができる小さな駐輪場の整備 「自転車レーンの必要性や短時間止

### まちかど駐車場の社会実験

とに50円が加算される。 時間まで100円、その後は1時間ご 駐輪ラックと精算機を分散配置するシ を開設した。大規模な駐輪場が確保で ステム。料金は1時間までは無料、 きない地区における新たな駐輪対策で 極公園に88台、御池通に3カ所計83台 スタートさせたもので、都心部の新京 くまち京都推進室が社会実験として、 ど駐輪場」だ。これは、都市計画局歩 ある。小規模分散型の駐輪場「まちか 言にも組み込まれた、市の取り組みも 方、街角セッションで評価され、 提 2

特に都心部は買い物など短時間利用し ツー・ドア。駐輪のニーズがある場所に、 駐輪設備が整っていることが望ましい。 自転車の使い方の基本はドア・



御池通に設置された「まちかど駐輪場|



徹底し、 早急に検討したい課題も残っている。 提言では、 する施策に取り組んでいる京都市だが、 京都市内には自転車レーンがまだない。 総合的な視野に立って、自転車に関 ・自転車のための「道」づくり、だ。 つは街角セッションでも提言され 車道の左側1mを自転車優先 自転車は ″車道を走る″を

京都らしい自転車のまちづくりを

地域の要望に応えることができる」と 性と照らし合わせながら駐輪設備を考 面からサポートした。 認知に務めるなど、この社会実験を側 撤去して駐輪場に誘導し、 する。自転車政策課も、 えていく必要があるが、この形式なら たいというニーズが高い。需要と利便 二木部長も「まちかど駐輪場」を評価 放置自転車を その存在の

市民局、 験は、 路計 上がメインになるが、 車の撤去と駐輪場設置、 政策課の担当だが、 担当部署が細分化している場合が多 「われわれが進めているのは放置自転 京都市では、 画課が担当。 全体で考えていきたい。 歩くまち京都推進室が手がける。 走行環境の整備は建設局の道 自転車関連の社会実 駐輪マナーは自転車 取り組んでいく方 走行マナーは文化 他の部署と連携 駐輪マナー向 合同会

では、

阪急電鉄が低価格でのサービス

スト面で実現が難しいと言う。

現時点

現状ではコ

市

提供を行っており、

大手旅行代理店も

レンタサイクルシステムを導入したい意

京都市に限らず、 自転車については

型レンタサイクルの検討を行うとし、 警察や地域と十分に検討し、決定した 慮で共存は可能、としている。 も自転車マナーとバスドライバーの 帯にする。バスレーンと重なる場合で でも準備を進めていたが、 「専用がいいのか、兼用がいいの 平成12年の総合計画では都

配

らうし 都 向を示している。 施策は何かを考えながら「自転車と京 「しばらくは民間の力で取り組んでも を形づくっていきたいと続ける。 と二木部長は語り、

たいし 奇跡だと思う。この土地柄、このまち 続けている。空港も港もなく限られた に適した京都らしい施策をたてていき くの観光客が訪れる。これはある意味、 公共交通しかないにもかかわらず、 「コンパクトな都市に147万人が暮 これだけ長い歴史の中で繁栄し 京都らしい

ものになるに違いない。 して今年度中に策定予定の新たな自転 での施策だ。来年度以降を推進期間と ラム」は、それぞれ今年度、来年度ま 部放置自転車等対策アクションプログ -総合計画も、おそらく「京都らしい 「京都市自転車総合計画」と 都心